

奨励賞

○設計者

須永 豪

●東京建築士会



○戸建住宅

杉シェルター

●千葉県市川市宮久保3丁目

▶▶▶ 選評

杉の集成版を構造体と内部仕上げに併用した「軸組木版造」の住宅である。

壁、屋根、床をすべて厚さの異なる杉の集成版によって構成し、南北に細長いトンネル状の一室空間住居を生み出している。トンネル状の空間の途中を僅かな角度に曲げることによって、長手に見通す視線を制御し、さらに軸組木版造のフレキシブルなシステムを活かして、2階床のレベルに変化を与えることによって、内部空間に適度な変化を与え、同時に柔らかな機能的分節を生み出している。

内装仕上げはすべて杉集成版の素地仕上げである。外装は平坦な構造体の外側に通気層を確保し、ここに縦樋や配線類を通し、その外側に防火下地を張り、屋根、壁とも着色ガルバリウム鋼板によって仕上げている。設計者によれば、関東地方なら、断熱は壁60mm厚、屋根90mm厚の杉集成材で十分ではないかというが、これは少々疑わしいだろう。

南北に細長い配置では、開口部の夏期の朝夕の直射日光による負荷を制御しなければならないが、これも十分検討されているとはいえない。とはいえ、合理的な構造システムによって、ローコストで豊かな一室空間住居をつくり出そうとする試みは、今後、大きく展開する可能性を秘めているように思える。

(難波和彦)



A



配置図



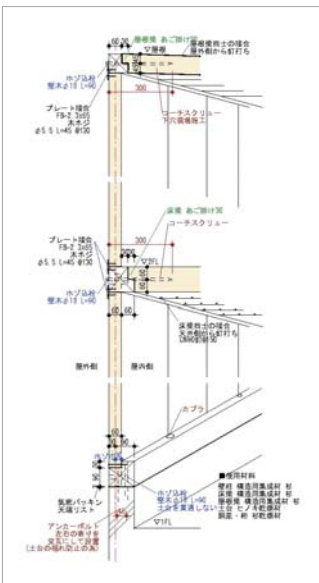
1階・2階平面図



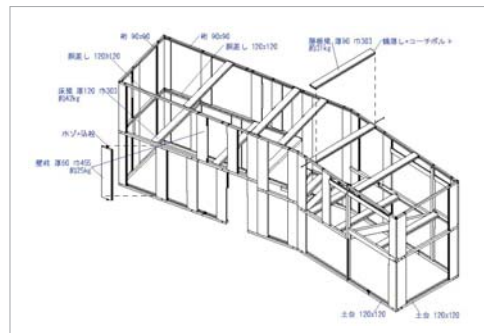
A : 外観
B : 内部

B

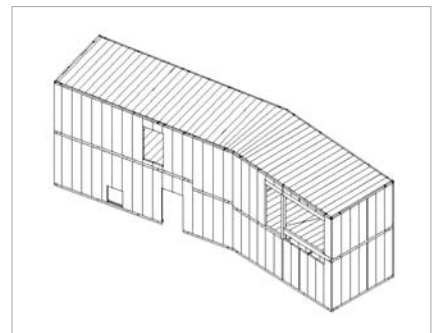
- 構造・階数：木造軸組木版造、地上2階建
- 敷地面積：100.07㎡ ● 敷地面積：48.26㎡
- 延床面積：90.42㎡ ● 竣工：2008年7月



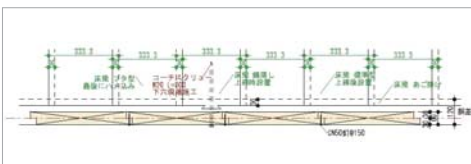
軸組断面図



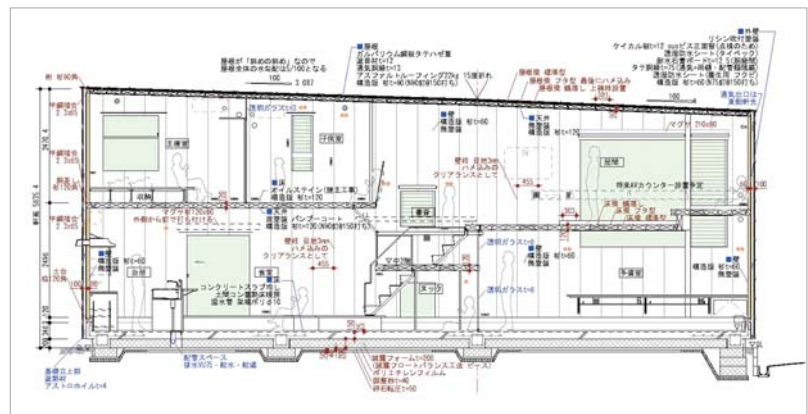
木版上棟図



木版完成図



壁柱平面図(2階)



断面詳細図